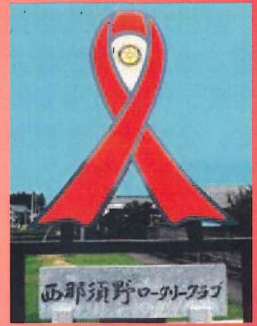


Service Above Self (超我の奉仕)
西那須野ロータリークラブ週報
 Nishinasuno Rotary Club Weekly

●高橋 正晃 西那須野ロータリークラブ会長テーマ●
「行動ある奉仕と親睦の実践」
 ～創立100周年に向かって～



第2362回(本年度12回)2022. 11. 15



RIテーマ

イマジン ロータリー

ジェニファー・ジョーンズRI会長



地区テーマ

**ロータリーを理解し 想像し
 多くを達成しよう**

佐貫直通2550地区ガバナー



開会宣言・点鐘 会長 高橋 正晃さん
 司会 SAA 君島 基子さん
 ロータリーソング (四つのテスト)
 お客様紹介 米山奨学生 ドン・グエン・コイ君

集いで、名称に「座談会」「家庭集会」「情報集会」などの変遷があり、現行ではこの言葉そのものが「手続き要覧」から見られなくなりました。

当クラブは「家庭集会」という名称で集会が行われていますが、各クラブにより先に述べたどれかの名称が使用されているのが大半です。集会の形式は少人数で行われ、ロータリアンの家庭もしくは小会場で行います。

最近では会場を使うことがほとんどですが、以前は自分の飲むお酒を持ち寄り、会費を集め会員の自宅で行われることもありました。目的は、新会員の同化および親睦を図り、情報交換や自由討議を通じてロータリーに関する諸問題について伝達し合ったりします。

会長の時間

会長 高橋 正晃さん

東水原RC、桃園RC記念式典参加の皆様大変お疲れさまでした。参加者全員が無事帰国できましたこと何よりでした。

私は、台湾滞在時間21時間という弾丸で、桃園RCの式典に参加させていただいたのですが、桃園RCのパワーはすさまじく、コロナ前と変わらないおもてなしに圧倒されました。3年ぶりの訪問となったわけですが、3年前と変わったことと言えば、乾杯の酒の種類が紹興酒からウィスキーに変わったことで、小さなショットグラスでウィスキーを一気飲みしたことや爆弾酒がなくなったことですね。

今後、渡航はどんどん容易になっていくと思いますので、今回渡航を断念された方も機会がありましたら是非訪問していただければと思います。本日と29日例会で東水原RC記念式典参加報告と桃園RC記念式典参加報告を行いますので私の方からはこのぐらいにしまして会長の時間を行わせていただきます。

先週、例会は臨時休会となり、会員の皆様家庭集会で活発な意見討議ありがとうございました。今回初めて家庭集会に参加され、緊張された会員の方もいらっしゃったのではないのでしょうか？西那須野RCは「家庭集会」というわけですが、以前は「炉辺談話」通称「炉辺会合」と言われる

11月29日 例会プログラム

- 12:30 開会宣言・点鐘 高橋正晃会長
- 12:31 ロータリーソング (奉仕の理想)
- 12:33 お客様紹介 高橋正晃会長
- 12:34 委員会報告
- 12:36 幹事報告 和泉卓哉幹事
- 12:39 会長の時間 高橋正晃会長
- 12:44 桃園RC61周年記念式典参加報告
- 12:59 財団委員長卓話
梅村悟志ロータリー財団委員長
- 13:04 友の記事紹介
鈴木明裕ロータリー情報・雑誌委員長
- 13:12 スマイルボックス報告
郡司義貴スマイルボックス委員長
- 13:15 出席報告 菊地一浩出席委員長
- 13:17 閉会宣言点鐘 高橋正晃会長

無断欠席は会費の無駄遣いです。欠席連絡は午前9時までに。

SAA 君島 基子 (携帯 090-9019-5029)
 FAX 0287-39-1155 TEL 0287-36-5748

会長 高橋 正晃 幹事 和泉 卓哉
 会報委員会 委員長 鈴木 仁志・益子 修
 関谷 直人・久保 世一

担当は情報雑誌委員会が行い、開催は、コロナ前ですと上期1回、下期1回が通例でした。また、会長、幹事は全ての班の家庭集会に参加しますので、全ての班が夜間開催となりますと、毎晩お酒を飲むようになります。

私と桃園RC訪問者は自主防疫期間ということで開催を免除されたわけですが、私の知る限りでは、その参加率は実に95.9%となったようです。和泉幹事、鈴木情報雑誌委員長たいへんありがとうございました。

下期の開催は未定ですが、以上のことを理解いただき、開催された際には積極的に参加し、発言いただければと思います。

以上で本日の会長の時間を終わります。本日もご清聴ありがとうございました。

幹事報告

幹事 和泉 卓哉さん

- 11月のロータリーレートは148円です
- 2021-22年度ロータリー賞の受賞の案内がありました。表彰式は12月11日の会員大会です。2021-22年度渡邊パスト会長、太田幹事ご苦勞様でした。
- 一年交換留学生の鈴木ひかりさんの留学先が決まりました。アメリカ合衆国のオハイオ州です。
- 全ロータリー会員を対象とした2022年調査が行われています。まだの方はお早めに調査にご協力をお願いします。
- ガバナー月信、黒磯RC会報を回覧します。また、各HPで閲覧できますのでご覧ください。
- ウクライナのナターシャ・グジーのチケットが後7枚です。ご家族等ご希望の方は申し込んでください。先着順です。
- 家庭集会の集計報告を鈴木情報・雑誌委員長が纏めてくださいました。回覧します。また、週報にも掲載したいと思います。
- 福本さんから東水原RC、桃園RCの写真を多数いただいています。皆さんが閲覧できる方法を考えます。



9. 手続要覧が2019年度版から2022年度版に更新されました。今回から紙ベースの資料打は無くMYROTARYへ掲載されるPDF版のみになりましたので各自データで保存するかプリントして保存していただくようお願いいたします。ちなみに英語版は現在掲載されていますが日本語版は11月中となっていますが、今日現在更新されていません。

10. 小西久美子ガバナー補佐の御主人が11月5日逝去されました。11月10日の通夜に高橋会長が出席され西那須野ロータリークラブから香典を出しました。

2024~25年度 西那須野ロータリークラブ 会長選挙

西那須野ロータリークラブ細則第3条第1節により、2024~25年度の会長選挙を告示いたします。立候補者される方は11月22日(火)12:00までに書面にて提出をお願いします。

第2条 理事会

本クラブの管理主体は理事会とする。その構成は5名の理事と、役員、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計に、会場監督も理事会メンバーとして加えて計11名とする。但し、次期会長は理事経験者から、理事及び幹事、会場監督(SAAは以下会場監督と記載する)は委員長経験者から選出するものとする。理事の内2名は理事経験のない会員を指名することが望まれる。他に副幹事を議決権のない書記に参加させることができる。

第3条 理事および役員選挙



第1節 役員を選挙すべき総会(12月第3週)の、その1カ月前の例会(11月上旬)において、その議長たる役員(指名委員会議長)は会員に対して、次々年度の会長、の立候補の指名を求めなければならない。次々年度の会長に関して立候補者がいない場合には選挙は施行されず、その指名は、クラブの決定するところに従って指名委員会によって行うこととする。適法に行われた指名は年次総会において当選したものと宣言されるものとする。選挙された次々年度会長候補は、会長ノミニーとなるものとし、その選挙の後の次の7月1日に始まる年度に、会長ノミニーのまま理事会のメンバーを務め、会長ノミニーは、後任者の選挙(12月の総会)が行われた後に、会長エレクトの役職名が与えられるものとする。理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に、会長に就任するものとする。また、次年度会長は、次年度の幹事、会計および5名の理事を同(前年度)総会前の指名委員会に推挙し、同総会にて指名委員会議長により指名がなされるものとする。

会員卓話

東水原RC創立40周年記念式典に参加して

訪問団長 益子 浩さん

当クラブ創立当初、クラブの特色は国際交流・国際奉仕に特化した運営を目指していました。クラブ創立からすぐに友好クラブのバイセリアRCをはじめ、パラニアックRC(フィリピン)、東水原RC(韓国)、桃園RC(台湾)と次々に姉妹クラブの締結をし、様々な奉仕活動を行ってきました。



最近では2009年～2010年に桃園RCと医療用搬送車のマッチンググラント、2014年からはグローバル補助金事業として、都市部と平均寿命が10年以上も短い台湾山間部の住民に継続した様々な医療支援。フィリピンにも人工透析等の医療支援。さらに昨年度はサンゴ保全活動の支援を行ってきました。台湾山間部の住民に対してのグローバル補助金事業は、今年も継続して行っております。

仁川空港には東水原RCの多くの方がお出迎えに見えておりました。恒例の記念写真を撮った後、私たちは水原市へ会員の車で向かいました。韓国は日本より景気が良いのか、車はほとんど欧米の高級車でした。途中昼食を取り少しずつですが親睦の和を広げて行きました。記念式典の実行委員長は常に私たちの席に同席して頂き、多大なる気

遣いを感じる次第でした。

式典は10年前より盛大で桃園RCの式典を思い出しました。姉妹クラブの台湾のRCは二十数名で、私たちは6名の少人数でしたが、同等以上の歓迎を受けました。奉仕活動は、私達より多くの事業を行っており景気の余り良くない日本と違い各々の会員の活気があふれ出ていました。私の記憶にある会員は2～3名でしたがそこはロータリー、一夜にして10年以上前からの友人のような親密感を覚えました。最後まで多大な接待を受け姉妹クラブの継続の糸を繋ぐことが出来た満足感に浸り帰国しました。

ただ一つ心配なことは、COVID-19感染していないかでした。マスク着用は、ほぼ私たちだけでした。結果的には、全員感染無しで杞憂でした。

私が思うロータリーの一番素晴らしい点は、海外との交流・親睦そして奉仕活動であると思います。当クラブは2550地区の中でもかなり秀でたクラブです。

ロータリー歴の浅い会員は特に、式典等に参加しロータリーを楽しんで下さい。必ずや個人の人生において恵みを得られることと、私は信じております。

ロータリー財団月間卓話

ロータリー財団副委員長 青山 吉博さん

*ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。



*「世界でよいこと」をしてきた105年

1917年、当時の会長アーチ・クランプが「世界でよいことをする」ための基金をつくるというビジョンをアトランタ大会で発表しました。この発表を受けカンザスシティロータリークラブから26ドル50セントの寄付を受けスタートしました。

その11年後の1928年に名称をロータリー財団と称する事になりました。ロータリー財団は、慈善活動を目的とする公共慈善団体であり、管理委員会によって管理されています(会員制組織である国際ロータリーは、理事会によって管理されています)。

*ポリオ根絶運動

☆1985年、国連40周年に合わせてポリオ・プラスプログラムを開始

当初プラスとは、はしか、ジフテリア、百日咳、結核、破傷風でした。

現在では、ワクチン投与のインフラ、並びにサーベイランス、ファンディング等を指しています。

☆1988年、国際ロータリー、WHO、ユニセフ、CDC(米国疾病センター)により、GPEI(ポリオ撲滅推進計画)を設立。現在ではコアパートナーとして、ビル・アンド・メリング・ゲーツ財団、GAVI(グローバルワクチンアライアンス)が加わって6つになります。

☆2007年の規定審議会でポリオ撲滅を国際ロータリーの最優先の目標にすることが承認され、野生株ポリオウイルスの撲滅の証明がされるまで、国際ロータリーは他のプロジェクトを採択しないと決めています。

☆目標2026年終息宣言

***11月にアフガニスタン全土でポリオワクチン接種が再開される。**

カブール/アンマン/カトマンズ、
2021年10月18日

WHOとユニセフは、アフガニスタン全土での家から家へのポリオワクチン接種の再開を支持するタリバン指導部による決定を歓迎します。と発表

また、タリバンの指導部は、女性の最前線の労働者を含めること、およびポリオワクチン接種キャンペーンの実施に不可欠な前提条件である全国のすべての医療従事者の安全を確保することへのコミットメントを表明しました。

さらに、11月8日に始まる予防接種キャンペーンは、アフガニスタンのすべての子供達に3年ぶりに届けられます。これには、以前は予防接種キャンペーンにアクセスできなかった330万人以上の子供たちが含まれます。2回目の全国的なポリオワクチン接種キャンペーンも合意されており、12月に計画されているパキスタン自身のポリオキャンペーンと同期する予定です。

2021年にこれまでに報告された野生ポリオウイルスの症例は1つだけであり、アフガニスタンはポリオを根絶するため今がとて大切な時期なのです。

***重点分野が「6つから7つ」へ**

国際ロータリーでは、従来6つの重点分野への取組みを推進してまいりましたが、2021年7月から1つ「環境保全」が加わり7つの重点分野となりました。これに伴いロータリー財団のグローバル補助金の対象も従来の6つの重点分野から7つになります。6月号「ロータリーの友」に詳しく掲載されていますので、ご一読された方もいるかと存じますが、復習の意味も込めて取り上げてみました。

環境保全と言っても範囲は広く、例えば従来の6つの重点分野「水と衛生」や「地域社会の経済発

展」、「基本的教育と識字率向上」「母子の健康」「疾病予防と治療」等にも関係するものもあったりするのかもしれないと思います。

例えば

☆生息地の回復、原生植物の植え付け、外来種の駆除

☆絶滅危惧種の保護と野生生物の違法取引の防止

☆乱獲、汚染、海岸浸食への取組み

☆環境保全と資源管理に関する地域社会の啓発

☆環境にやさしい農業と持続可能な漁業の支援

☆資源管理における伝統的知識・先住民族の知識の利用促進

☆エネルギー効率の高い輸送手段への移行支援

☆環境有害物質への暴露の排除

☆食品廃棄物の消滅等

従来同様、地域社会の評価を受け持続可能でなければなりません。ここで注意しなければならないのは、例えば「地域社会の美化プロジェクト」や「単発の清掃活動」「広範な戦略の一環ではない植樹」「屋外レクリエーション」は対象にならないという事です。

グローバル補助金は実施国・支援国と国をまたいでの支援活動であり、従来では主に発展途上国を実施国とする例が多くありました。是非、地域調査を志していただき、持続可能なプロジェクトが実施国として可能かどうか研究していただきたいと思います。

例えば、ローターアクトクラブやインターアクトクラブを交え調査研究し、地域自治体やNPO等と連携して温暖化対策をめざすプロジェクトを実施してみる。は如何でしょうか。また、高齢化に伴う耕作放棄農地の利活用等、地域社会との関わりを通して海外の姉妹クラブや友好クラブと共同でクラブがどこまで参画出来るのか？大変楽しみな分野が一つ加わったのではないかと思います。

***「当地区最近の現況」**

お陰様で「世界でよいことをする」ため皆様から寄せられた21-22年度のご寄付は年次基金281,864ドル(1,665人/169ドル)となり、3年後にシェアシステムにより半分が地区に戻ってまいります。ポリオへのご寄付は39,673ドル(1,695人/23ドル)でした。その他に恒久基金の運用益22,719ドルがあります。余りは次年度に繰り越されます(但し、5年間で使い切ります)。

一方、支出では地区補助金に72,963ドル(35件)、地区活動資金(DDF)よりグローバル補助金に41,200ドル(3件)、ウクライナ人道支援に20,000ドル、ポリオ根絶に14,000ドル支出致しました。

今年度は上期後半ではありますが、地区補助金では2件の奨学金を入れて49,026ドル(22件)。地区活動資金(DDF)よりグローバル補助金奨学金2件を入れて48,630ドル(3件)、ウクライナ、ム

ジュン村(300プロジェクト)へのモジュラーハウス寄贈の為の災害救援補助金(25,000ドル)です。

今年度の地区目標は年次基金にお1人150ドル、ポリオ根絶にお1人30ドルの寄付をお願いしています。

一方、ロータリー財団では、寄付をしていただいた方への感謝の証として認証制度があります。1957年ポール・ハリスを顕彰するために、1回1,000ドルのポール・ハリス・フェローの認証プログラムが創設されました。また、2013年には毎年1,000ドルを誓約されますとポール・ハリス・ソサエティーの認証があります(1665名/23名)。

大口寄付10,000ドル以上のメジャードナーや25万ドル以上寄付された方にアーチ・クラフを顕彰したアーチ・クラフ・ソサエティ(当地区では2名)等があります。財団がこれからも「世界でよいことをしよう」を推し進めていくためにも皆様のご理解とご支援が必要です。

*ロータリー財団 2022-23年度 目標と計画

一昨年(2021)の8月、WHOより嬉しいニュースが飛び込んでまいりました。国際ロータリーが1985年以来、取組んでまいりました野生株によるポリオ根絶の成果がナイジェリアで達成されました。これで、アフリカ大陸はポリオフリーとなりました。

37年余の長い道のりを地道に取り組んできたロータリアンの支援の賜物と思います。残すは、あと2か国(アフガニスタン、パキスタン)です。

*ポリオ根絶にお1人30ドルの支援をお願いします。

例えば、100ドルをポリオに寄付しますと、50ドルがWFから上乗せされ、150ドルになります。この150ドルの2倍(300ドル)がゲイツ財団より上乗せされ450ドルになります。国際ロータリーは2022-23年度5,000万ドルを目標にしています。この金額にビルアンドメリンダ・ゲーツ財団より2倍の上乗せがあります。

*年次基金にお1人150ドルのご支援をお願い致します。

この基金は、3年間運用され3年後に元本がシェアシステムにより地区活動資金(DDF)とWFに戻されます。この戻された地区資金の1/2が地区補助金となります。

昨年度(2021-22)当地区での年次基金への寄付額は、お1人当たり平均169.29ドルでした。ありがとうございました。3年後が楽しみです。

*ロータリーカードの普及促進

既に多くの会員の皆様はカードをお持ちの事と思いますが、地区内ロータリアン1,705名の内、ロータリーカードをお持ちの方は僅か2.2%(2021年5月現在)しかいません。是非ロータリーカードをお持ちください。この個人カードで使用した金額の0.3%がカード会社の負担でポリオ根絶に寄付されます。

*ポール・ハリス・ソサエティー会員の加入促進

毎年1,000ドルを年次基金や7つの重点分野に寄付していただける会員です。

例えば、ロータリーカードから毎月15,000円を寄付していただけますと為替状況によりますが年間18万円になりポール・ハリス・ソサエティー会員となります。(2021-22年度の地区内ポール・ハリス・ソサエティー会員は1,665名中23名でした)

補助金の申請、進捗の管理、報告は、この補助金センターから行ってください。地区で実施しているほかの補助金も検索できます。

○補助金の種類

ロータリー財団は、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チーム(VTT)を支援する各補助を提供しています。

- ・グローバル補助金は、ロータリー重点分野のいずれかに該当し、持続可能な成果をもたらす大きい長期の国際的プロジェクトを支援します。支給額は30,000~400,000ドルです。
- ・地区補助金は、地元や海外で今すぐ支援を必要とするニーズに取り組む、比較的小規模期間のプロジェクトに利用できます。

スマイルボックス報告

委員長 郡司 義貴さん

菊地 一浩さん お見舞いありがとうございました。お返しスマイルとさせていただきます!

福本 光夫さん 東水原RC創立40周年記念式典、桃園RC創立61周年記念式典に参加してきました。皆様にくれぐれもよろしくお伝え下さいとのことでした。また益子さん運転と名刺ありがとうございました。

福本 光夫さん 田原さん大変お世話になり、ありがとうございました。講師の先生にとっても喜んでいただけました。

東水原RC式典参加者 池嶋さん、酒升40個ありがとうございました。東水原RCの皆様が今度は鏡割がしたいとのことでした。

星野 仁さん 桃園RC訪問の皆様お疲れ様でした。お世話になりありがとうございました。

関谷 直人さん 榎本さん、先日は沢山の柿をありがとうございました。美味しく頂きました。

関谷 直人さん 姉妹クラブ、周年記念式典に出席された皆様大変ご苦労様でした。友好を、更に深めて来られた功績に感謝。

月井 美好さん 関谷地区のもみじの紅葉すばらしいです。

佐藤 正一さん 韓国東水原RC、台湾桃園RC式典参加の皆様ご苦労様でした。

君島 基子さん 家庭集會おつかれ様でした！皆さんとお話できて楽しい時間を過ごせました。

青山 吉博さん 益子さん、福本さん、体だけは大事にして下さい。

池嶋 英哲さん 榎本さん、柿いつもありがとうございます。ごぞいます。

高橋 正晃さん 東水原RC、桃園RC記念式典参加の皆様おつかれ様でした。

益子 浩さん 東水原、桃園大歓迎でした。帰国後の自主隔離4日間×2回、一番大変でした。

益子 浩さん 榎本君、写真ありがとうございます

小中 一成さん

季節料理 いたう家 家庭集會お疲れさまでした。又当店をご利用いただき誠にありがとうございました。

富田 勸さん・桃園ロータリー行御苦労様です。
・今月初回のロータリー、楽しみましょう。

○在籍年数祝い

菊地 一浩さん 5年
井上 雅央さん 2年
橋本 貴行さん 2年

○本人誕生祝い

齋藤 幸夫さん 1965/11/10 57歳
八木沢浩司さん 1972/11/14 50歳
君島 基子さん 1974/11/15 48歳
齋藤 誠之さん 1974/11/15 48歳
青山 吉博さん 1950/11/17 72歳
榎本 建司さん 1938/11/27 84歳
池嶋 英哲さん 1949/11/27 73歳
角橋 徹さん 1955/11/27 67歳
関谷 直人さん 1933/11/28 89歳

○配偶者誕生祝い

須田 秀和さん (優子さん) 11月11日

○ご結婚記念日

齋藤 幸夫さん (直美さん) 11月7日
榎本 建司さん (道子さん) 11月11日
田原 直之さん (さやかさん) 11月11日
宮崎 安浩さん (ゆかりさん) 11月12日
森 英夫さん (順子さん) 11月18日
渡邊 将宏さん (みどりさん) 11月20日
星野 仁さん (順子さん) 11月24日
青山 吉博さん (すえ子さん) 11月28日
益子 浩さん (薫さん) 11月29日
高橋 智純さん (倫子さん) 11月30日



出席報告		出席委員長 菊地 一浩さん	
11月15日 第2362回 (本年度第12回) 会員数49名			
出席	37名	前々回10月18日	2360回例会
欠席	11名	欠席	13名
出席免除者	1名	M・U	7名
出席率	77.55%	修正出席率	87.75%

欠席者		M・U	
郡司 義貴さん	宮崎 安浩さん	郡司 義貴さん	齋藤 誠之さん
蜂巣 悟さん	森 英夫さん	石田 信行さん	
猪瀬 康雄さん	齋藤 幸夫さん	松本 善明さん	
小出 文雄さん	関谷 暢之さん	森 英夫さん	
小関 栄さん	須田 秀和さん	齋藤 幸夫さん	
松本 善明さん		八木沢浩司さん	

事務所 いたう家 那須塩原市扇町7-12 例会日 火曜日 12:30 例会場 いたう家 那須塩原市扇町7-12
☎0287-36-0028 FAX36-2854 ☎0287-36-0028

※11月のロータリーレート 1ドル148円

家庭集會集計報告

(R4年11月)

情報・雑誌委員長 鈴木 明裕さん

出席者40名 欠席者2名 意見書提出者3名 ← 参加免除者5名

忌憚のない多数のご意見ありがとうございました。会長に提出し理事会におきまして細則の変更を検討するとのことです。やはり、少人数は数多くの意見が出て良いと思います。

会員の意見ですので是非ご一読ください。

数少ないクラブに意見を述べるができる機会です。細則改定やクラブ運営に役立てると思います。ご意見や気が付いたことがありましたら、会長までご連絡ください。尚、個人名は削除させていただきました。一部内容をまとめました。

議題1. 西那須野RC細則の変更について

- ・細則の問題点・改善・訂正への意見
 - ・会員規定について：名誉会員やクラブに貢献した高齢者特別会員枠の新設など
 - 西那須野RC細則を細かくしすぎるとの意見がありますが、私は重要だと思っています。コロナ禍もありますが、先輩方に厳しい指導をされる方減りました。あと数年でいろいろな歴史が消えていくように危惧しています。(新入会員の出席率が悪すぎ)
 - 会員の種類が増えるのは良いが基準が重要だと思っています。会員数に対する比率も必要
 - このような細かい細則は必要ないと思う。もっとスリム化すべきではないか。
 - 以前の報告書を見ると(20世紀末から21世紀初頭)規則細則の部分は、2～3ページの様であり、軽いほうが良いのかなと思う。
 - 旅費規程について、海外姉妹クラブに訪問する際、過去には自費で行っていたが、この規定に則ると大勢で行った場合、莫大な出費になる可能性があるため改定、または、一部修正した方が良いのでは・・・
 - 他のクラブではどうされてるのか？
 - 今回の訪問については、成田空港までの旅費(高速代含む)を支払った。
 - 蜂巢さんが今期6月で退会予定ですが、第6節にある名誉会員の選出方法や資格について細則があった方が良いのでは・・・
 - 会長経験者に回数制限は設けないという項目を追加すると良いのではないか
理由・・・今後会長候補者がいなくなっていく可能性がある
 - 他クラブで好事例があるのであれば参考にしてみてもどうか
(参考・・・宇都宮東クラブなど)
 - 会長指名委員会議長について
誰がなるかの規定がない 会長指名委員会定義の条文がない
新たな条文を作成しない場合は
- 第3条 理事役員の選挙 第1節 の
役員を選挙すべき総会(12月第3週)の、その1カ月前の例会(11月中旬)において、
その議長たる役員(会長指名委員会議長)は会員に対し・・・これを
役員を選挙すべき総会(12月第3週)の、その1カ月前の例会(11月中旬)において、
会長指名委員会議長(前年度会長が就任する)は会員に対し・・・に直す
- 第5条 会合
定款第5条 会合 例会に 細則に定められた日および時間に、定期の会合を開くものとする。とあり
細則第5条 第2節に
月3回以上開催、祝日の入る週の例会は原則休会 加える
 - 第6条 会費
コロナ流行時の減額もあり、⇒「理事会は年度内においてやむを得ない事情がある場合は、変額することができる」を追記
 - 第8条 委員会 第1節 (a) 5 ローターアクト委員会の削除
 - 指定寄付の追記
指定寄付の定義がなく曖昧であり 第9条 3.(ホ)スマイルボックス委員会 に定義や取り扱いの追記。
 - 家族集会の記載がない
慣習で、ロータリー情報・雑誌委員会が担当しているが、担当委員会の変更を。

毎年、クラブの会員増強などクラブ運営に関係した討議集会になっていますので、クラブ奉仕委員会が直接担当するのが妥当と考える。または、親睦をメインに考えるなら親睦委員会では。第9条 委員会の任務担当委員会を決めて家族集会の定義も含め追記。

- 第9条 委員会の任務 第5節 (a) ローターアクト委員 の削除
- 細則にない疑義解釈について、理事会が最高機関とあるが、会員に事前に諮問するなど、活発で開かれた運営には必要ではないか。
- 今までの経緯で、名誉会員を希望した会員の却下もあり、定義が曖昧。
- 今後は名誉会員を無くして、ある一定の在籍期間と、年齢の規定を設け、希望者はクラブ運営の維持に必要な低額の会費で正会員の形で在籍してもらう。
会員数の維持と、高齢会員の退会防止と会員の負担減少につながる。
- 準会員・プレ会員などのお試し会員があっても良いのでは。 最初から本会員はハードルが高く活動がままならないと気おくれすることがある。
- 会員の「終結」と「退会」の区別が明確だとより良い
- 負債（会費未払い）がある間の退会について厳密にルールを設けたほうが幹事の負担が少ない
- 会費の期間（先払い？）を明確にしたほうが良い
- 高齢者特別会員枠を設けるのであれば名誉会員を明確にしたほうが良い
連続20年以上（年齢と年数20年を足して85歳）
70歳以上、10年（15年）在籍
- どんな特典を付けるか
- 会費の減免など
- 法人会員（出向）から個人会員になることについて
- 名誉会員の定義についての検討をする（どのような条件とするのか）
- 会員規程の名誉会員、高齢者特別会員についてある程度の目安が必要ではないか。
→現在の規定では理事会が決めることとなっているが、理事会は単年度であることから理事会のみに委譲してよいのか
各項目選定できる指名委員会をつくってはどうか
→ex 20年以上の方を対象に貢献度（会長経験者など）を理事会（指名委員会）ではかる。
- シニア会員について出席免除、会費半分についてこのままでよいのか。
- 慶弔見舞金について
→10日間を超える見舞金10,000円は必要か。
→あまり事例がないかつもらってもスマイルで返金となる実態とおもわれる。

議題2. 会費について

- ・休会者の会費の変更の件
- ・会費全般への意見・提案
- 送金カレンダーを見るとRI人頭分担金、地区への送金で約29,452円かかります。休会中も会の運営費はいただくべきだと思うので半期50,000円くらいが妥当。
- 休会の条件も重要、基本は体調不良で半年、1年様子を見たい方などに限定、仕事なら長期出張等に限定するべき
- 西那須野RCの奉仕活動の数で考えると現在の金額で妥当。
- 出来れば、米山、財団の毎月1,000円の寄付は会費に組み込んだほうが良い。
- 特別寄付も半期2,000円位組み込むと寄付額が増えるのでは？（支店長関係から寄付がないような？）
- 運営費は十分足りていることから、会費は現状維持でいいのではないか。
- 誰でも入会できる組織ではなく、またロータリークラブ会員としての誇りとステータスもあるので、会員増強のためだけに会費を下げることはしなくてよいのではないかと思う。会員増強と会費はバランスが重要。
- コロナ禍の中、郡山安積、新座等訪問したが、概ね例会を減らした時は、会費を減じているようで、そのほうが合理的だと思う。
- コロナ禍等で例会開催が減った時は会費を減らしたほうが良いと思う。
- 健康上の理由により出席できない場合は当該会員の会費を減額したほうが良いと思う。
- 休会の場合は半額でも良いのではないか。
- 会員維持・増強のため、会員の年齢、その他状況に応じた会費設定も検討してはどうか。
- 会費以外の負担金もあることから、現状を超える会費の値上げはしないほうが良いと思う。
- お祝い品（誕生日等）贈呈にあたり、別途徴収していないクラブもある。会員全員でお祝いしているので、クラブ運営費で全額賄ってもよいのではないか。
- 米山奨学金の集金が大変。なかなか集めづらい。新入会員の方へ米山奨学金概要を説明する機会があ

れば、趣旨を理解して貰い集め易くなるのでは・・・

- 本来なら入会する前に諸々の会費等の説明をする決まりになっているが・・・それを聞いて入会しなくなる恐れもあり、説明不十分になっているのが現状。
- 年間の集金スケジュールがあると良いのでは・・・
- 休会の定義・細則がない。定款には原則最長12カ月の出席免除の規定のみがある。
- 病気などの休会者の会費減額は賛成だが、期間・適応条件・払い戻し方法等の問題。
- 会制度そのものが不要無い。
- The lower the betterだが、週報のデジタル化などの経費節減の努力が必要と考える。
- 休会者の会費の変更の件一会費一部免除があると良いと考えます。
- 会費全般への意見・提案一議題1とも関係しますが、高齢者も会費一部免除があると良いと考えます。
- そもそも休会の定義は？
- 休会の最小単位は半年？ 1ヶ月？
- 休会時の会費の明確化（RI人頭分担金・米山・ロータリーの友・2550地区の分担金として3万円とか）
- ほぼほぼ決まっている寄付金等（財団、米山）は、最初から会費にしたほうがわかりやすい。建前必要？
- 会費以外にかかる経費の説明資料がほしい。
- ちょっとしたもの（結婚祝い等）、スマイルについてキャッシュレス決済を入れてほしい。
- 最低6万円はかかる。
- お金が余る分には構わない。
- 変更の必要はない。
- 条件によって免除（減免）の検討。
- 会費全般について、今まで通り。
- 休会者の会費について。
→参加したくても参加できない人、コロナで活動が縮小されている等の現状は様々であるが、本来会費というものは、活動内容によって変更されるべきものではないと考える。
- 委員長が毎年変更となる中で、前委員長からの引き継ぎについてもう少し詳細引き継ぎがなされてもよいのではないか。

議題3. クラブの活性化について

- 現在の状況では厳しいと思うが、やはり原則対面例会と親睦活動。
- 広報活動をもっと行うべき。国際奉仕も重要かもしれませんが、地元の方にロータリーで何をやる団体ですか？と聞かれるとがっかりです。私から言わせれば国際奉仕は自己満足のみだと思っています。（ロータリアン以外に評価してくれる方はいませんね）
- もっと会員同士を知り、クラブ内をよくすることが重要（特に今はその時だと思えます）
- 活動する会員を増やすこと、そのために参加しやすい雰囲気を作るべきと感じる（昼間の例会のみならず、夜間例会の開催など）
- コロナ禍で活動・参加に制限があり、思うような活動ができない状況もあるが、その中でも当クラブは活動している方であり、今のままで良いと思う。
- 他のクラブではゴルフ等のクラブ活動をしているところもあるので、そういった楽しむための活動を取り入れる必要もあるのではないか。
- クラブ本来の活動をしやすくするために、事務局設置を検討すべきではないか。会長、幹事、各委員長が内向きの事務に追われ、本来すべき対外的な活動に支障がでてきているのではないか。各委員長の事務的負担もあることから委員長のなり手が現れず、会への参加の阻害要因となっているのではないか。そういった面を考慮し、事務局設置により、会員の負担軽減を図っても良いと思う。
- 会員の負担を少なくすれば、もっと気軽に参加するようになり、また参加者、活動会員が増えれば活性化につながると思う。
- 海外の活動も含め、奉仕作業など新入会員に今までの活動を理解して頂き活発化を進めていければ良いのでは・・・
- 最近コロナで様々な活動が制限されているので、これからはウィズコロナで徐々に活動を再開出来れば良いのでは・・・
- 今は無理かと思うが月に1回の夜間例会の再開。
- 何を言われても親睦旅行は企画してほしい。
- 例会以外の課外活動（奉仕活動など）を多く行い会員間の交流を図る。
- 親睦旅行+行った先でのボランティア（社会奉仕など）企画で親睦+奉仕活動にて親睦を深める。
- 会員増強。
- 小さくてもいいので、奉仕活動を増やす。

- 奉仕活動は、日曜日を増やしてもらいたい。
- 奉仕活動は、社会福祉協議会等への協力ではなく、直接奉仕・支給が望ましい。
- 直接奉仕先を開拓する必要がある。ロータリー独自の奉仕活動を展開すべき。
- 卓話の充実。外部講師・クラブ委員の卓話を実施すべき。
- 事務員を雇用して、会長幹事の事務負担を軽減し、本来の活動に時間を充てる。
- コロナ対策を徹底しながら夜間例会をしてほしい。
- オブザーブ制度はやったことがない。
- 懇親会（飲み会）ができていない。
- 少人数の集会。
- 新入会員は出席委員会や親睦委員会に配属されていた。
- 食事の時間について。
- 例会が長くなっている。
- 新入会員推薦者は会員の初期段階の面倒はみる。
- もう少し対面開催、夜の会議、会食での自由な発言などの機会を増やしてはどうか。
→コロナ禍での運営の仕方の再検討が必要。

議題4. HPについて（要望や改善点）

- 出欠報告をHPのスケジュール上でできるようにする。
- HPは活字が多いので、動画を盛り込んでみれば良いのでは・・・
- 様々な活動をトピックニュースとしてHPのトップページに加えてみては・・・
他のSNSとの連動が可能かどうか？
- フェイスブックはあるが、皆さんに情報が行き渡っていない。
- HPに関してははすごく見やすくなった、クラブの予定なども確認しやすくなった。
- 一方で見方がわからないという意見も出た、例会等でサイトの見方やサイトへの行き方などをレクチャーして欲しい
- 欠席者はクラブの行事がわからないので、HPに幹事報告を掲載。
- 対外PRとなるので、今までのように、クラブのイベントの掲載、新聞発表の掲載、受賞感謝状の掲載を。
- 機微情報を掲載できる会員専用ページを新設してほしい。PRページと差別化。
- 会員の広場ウェブ版。持ち回り、年間予定を発表する。一人年2回。
- ラインアプリを使いたくない。
- スケジュールをHPに挙げてほしい。
- FAXは流行らないけど、まだ継続。
- スケジュールがわかりやすくしてほしい。
- 大変すばらしいが、画面トップに例会の日程をドーンとアップするとより使いやすい。
→他のロータリークラブを参照してはいかがか。
- 毎回ロボットではない、の inputs が面倒。

議題5. 週報デジタルについて（班議決と意見）

・賛成 31名 反対 3名 保留 9名

- 賛成です。個人的に当社はSDGsに参加していますが、ロータリーはエコじゃないですね。
1年たたないと分かりませんが、紙の使用量がすごいです。削れるところからけずらないと。
- 伊藤進さんに週報のHP掲載を依頼する。
- 黒磯ロータリークラブでは、例会前に事前にメール配信している。
- デジタル化という時代の流れはわかるが、デジタル化一本にしてしまうと見なくなってしまう懸念がある、まだ今は移行期間ととらえ従来通り印刷+HP（PDF）の両輪でやってもらえるとありがたい。
- 経費削減・会員の週報保管のためにも必要。
- 全会員のメルアド取得が必要。メルアドない会員への取得の支援。
- 紙媒体でお願いしたい。
- 紙も選べるようにする。
- 紙の場合は、紙質・製本の簡略化を行う（具体的には業務用複合機でのプリントアウト）

その他

- 通常例会出席時の服装の緩和をしてほしい。昨今、現場は安全衛生管理のため制服の要件が厳しいため、その脱着前後で大きく時間がかかってしまい、例会に足が遠のいてしまう。
- 逆にお客様が来る際はネクタイ着用の推進を強化する。